



株式会社大戸屋ホールディングス
(JQスタンダード 証券コード:2705)

平成30年3月期 第2四半期
決算説明会
〔平成29年11月22日〕

本日の内容



1. 平成30年3月期 第2四半期 業績概況(p.2)
2. 平成30年3月期 下期 業績予想(p.17)
3. 平成30年3月期 下期 経営施策(p.20)

**平成30年3月期 第2四半期
(第35期)
業績概況**

平成30年3月期 第2四半期 業績概況



1. 平成30年3月期 第2四半期概況

◆売上高

国内直営事業を中心に昨年対比で増加したが、計画には届かず。

◆営業利益

人件費を中心とした販管費の増加により減少。

◆経常利益

為替差損の減少により、昨年対比で増益となったが、計画には届かず。

◆親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益・経常利益の減少(未達)により減少。

⇒第2四半期業績予想を修正(通期予想は変更なし)

平成30年3月期 第2四半期 業績概況

2. 上半期の取組施策

◆新グランドメニュー(6/1改定)実施施策

① 野菜ブランディング

- たっぷり野菜メニュー9品の導入
- サイドメニューの強化



② メディア戦略

- 戦略発表会 (2017年5月31日)
- 丸の内センタービル店にて実施
- 取材参加者32社 (48名)



平成30年3月期 第2四半期 業績概況



2. 上半期の取組施策

◆新グランドメニュー(6/1改定)実施施策

③ 新CM&インフルエンサー

●新CMリリース

Web (ホームページ、Facebook、Youtube) を中心に展開 シネアド上映、TVer



●Instagram インフルエンサー起用投稿



●DELISH KITCHEN



2. 上半期の取組施策

◆労働環境の改善

① オーダータブレットの導入

●現在 15店舗で導入



② セルフレジの導入

●現在 3店舗で導入



③ 時間短縮店舗

●閉店時間の変更 (23時 ⇒ 22時)

●現在 27店舗で実施

2. 上半期の取組施策

◆その他の取組

① 宅配の強化

- UBER 導入店舗 37店舗
- fineDine 導入店舗 10店舗



② 店舗改装支援制度

- F C加盟店様の改装支援策として、改装額に応じてロイヤリティ 1～2%減免
- 現在 2店舗に実施

平成30年3月期 第2四半期 業績概況



3. 連結損益計算書

(百万円)

	H30/3期 2Q		業績予想 (H29年5月10日公表) (H29年11月6日修正)		
	金額	構成比 (%)	金額	金額差	達成率 (%)
売上高	12,937	100.0	13,400 12,900	▲463	96.5
売上総利益	7,205	55.7	—	—	—
営業利益	225	1.7	280 230	▲55	80.4
経常利益	237	1.8	290 240	▲53	81.7
親会社株主に 帰属する当期 純利益	▲48	▲0.4	10 ▲50	▲58	▲480.0

■計画差異要因

《売上高》

- ・国内事業既存店お客様数
売上高回復の遅れ

《営業・経常利益》

- ・売上計画未達の影響
- ・販管費(主に人件費)の
増加

《親会社株主に帰属する当期純利益》

- ・営業・経常利益計画未達
の影響

平成30年3月期 第2四半期 業績概況



4. 連結貸借対照表

(百万円)

	H29/3期		H30/3期 2Q		前期差 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
流動資産合計	4,499	43.9	3,888	40.0	▲13.6
固定資産合計	5,756	56.1	5,841	60.0	1.5
資産合計	10,255	100.0	9,730	100.0	▲5.1
流動負債合計	3,770	36.8	3,773	38.8	0.1
固定負債合計	1,764	17.2	1,507	15.5	▲14.6
負債合計	5,534	54.0	5,281	54.3	▲4.6
純資産合計	4,721	46.0	4,448	45.7	▲5.8
負債純資産合計	10,255	100.0	9,730	100.0	▲5.1

■前期比差異要因

《資産の減少》

・現金及び預金の減少

《負債の減少》

・借入金の減少

《純資産の減少》

・配当金の支払いによる
利益剰余金の減少

平成30年3月期 第2四半期 業績概況



5. 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	H29/3期 2Q	H30/3期 2Q	前 年 同期比 増 減 (%)
営業活動による キャッシュ・フロー	27	320	1,065.8
投資活動による キャッシュ・フロー	▲456	▲364	▲20.2
財務活動による キャッシュ・フロー	▲1,064	▲446	▲58.0
現金及び現金同等物の期末残高	2,767	1,995	▲27.9

■前期比差異要因

《営業活動によるCF》

- ・創業者功労金の支払
- ・未払金の減少
- ・法人税の還付

《投資活動によるCF》

- ・有形固定資産の取得

《財務活動によるCF》

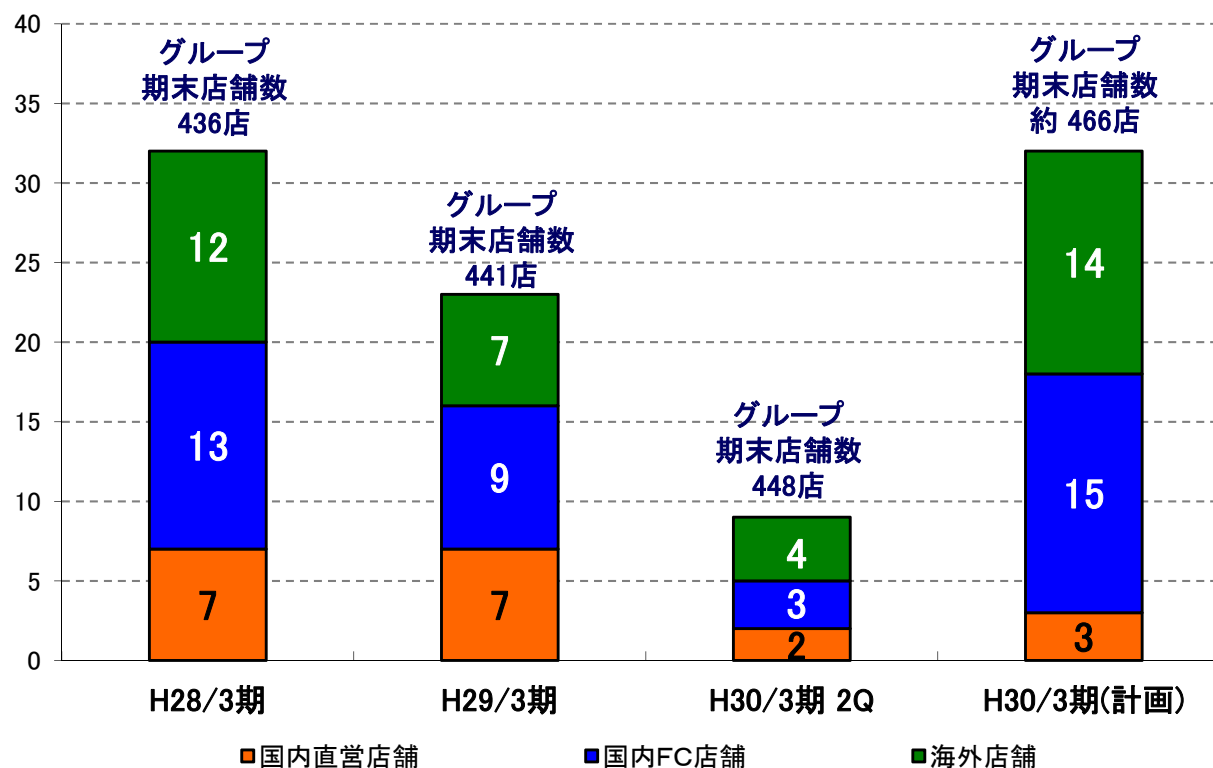
- ・短期借入金による収入
- ・借入金の返済
- ・配当金の支払

平成30年3月期 第2四半期 業績概況



6. 出店

(店舗) <新規出店数の推移>



《H30/3期出店計画》

- ・国内直営・・・3店舗
- ・国内FC・・・15店舗
- ・海外・・・14店舗

《2Q出店(累計)》

- ・国内直営・・・2店舗
- ・国内FC・・・3店舗
- ・海外・・・4店舗

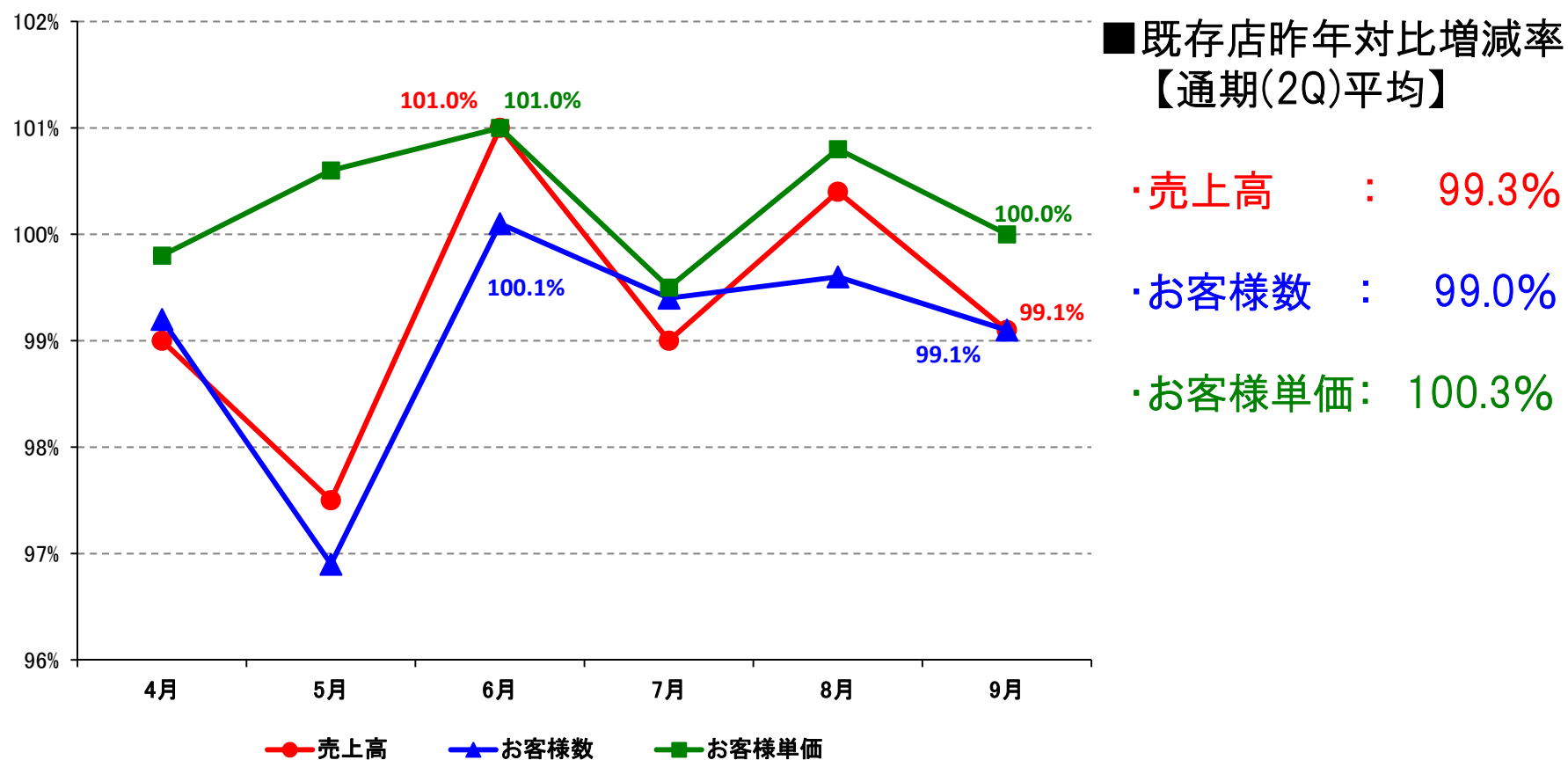
※ 海外店舗には持分法適用関連会社が運営する店舗を含んでおります。
 ※ 海外店舗は12月決算期末を基準としております。

平成30年3月期 第2四半期 業績概況



7. 既存店昨年対比①

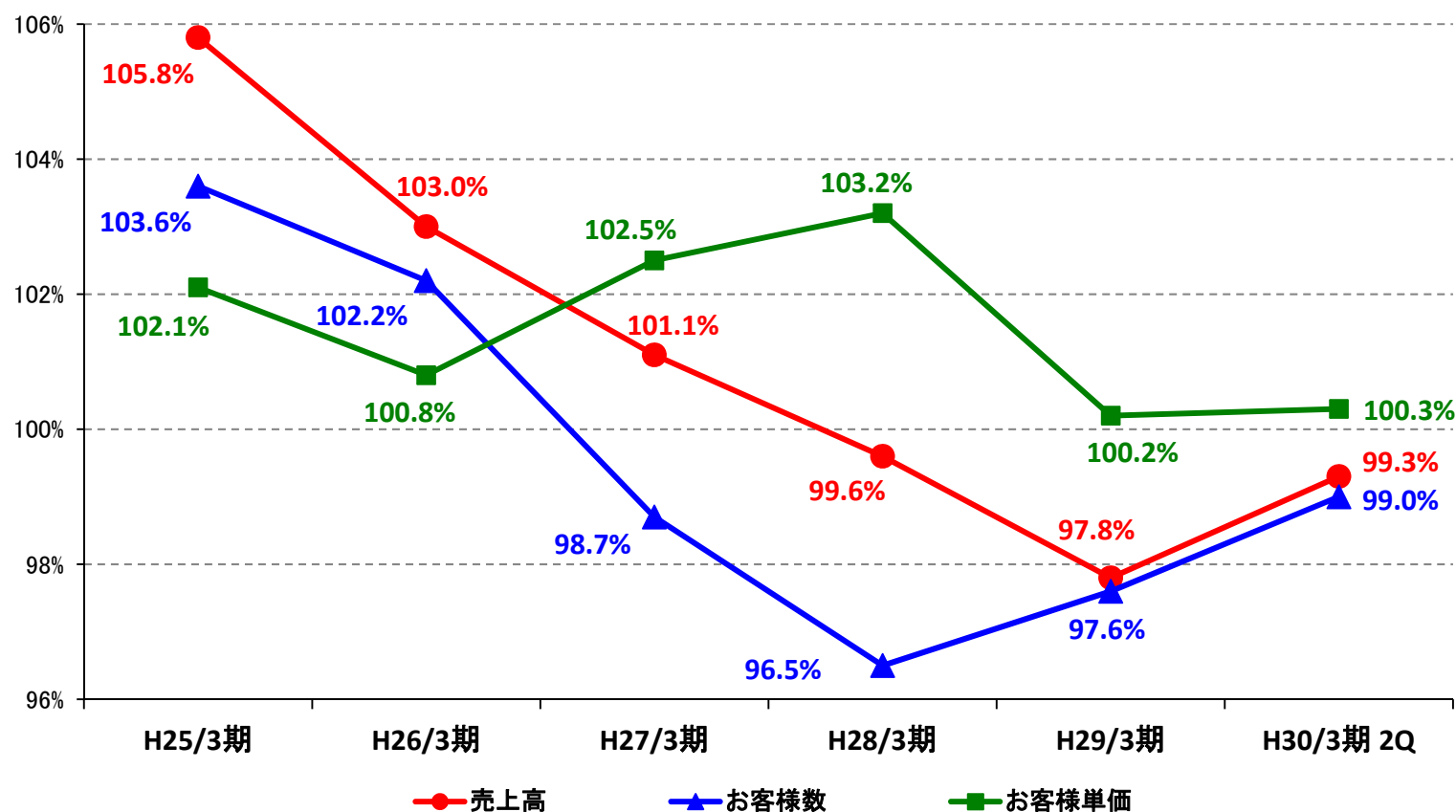
<既存店昨年対比増減率 (H30/3期)>



平成30年3月期 第2四半期 業績概況

7. 既存店昨年対比②

＜既存店昨年対比増減率（過去5期の通期平均）＞

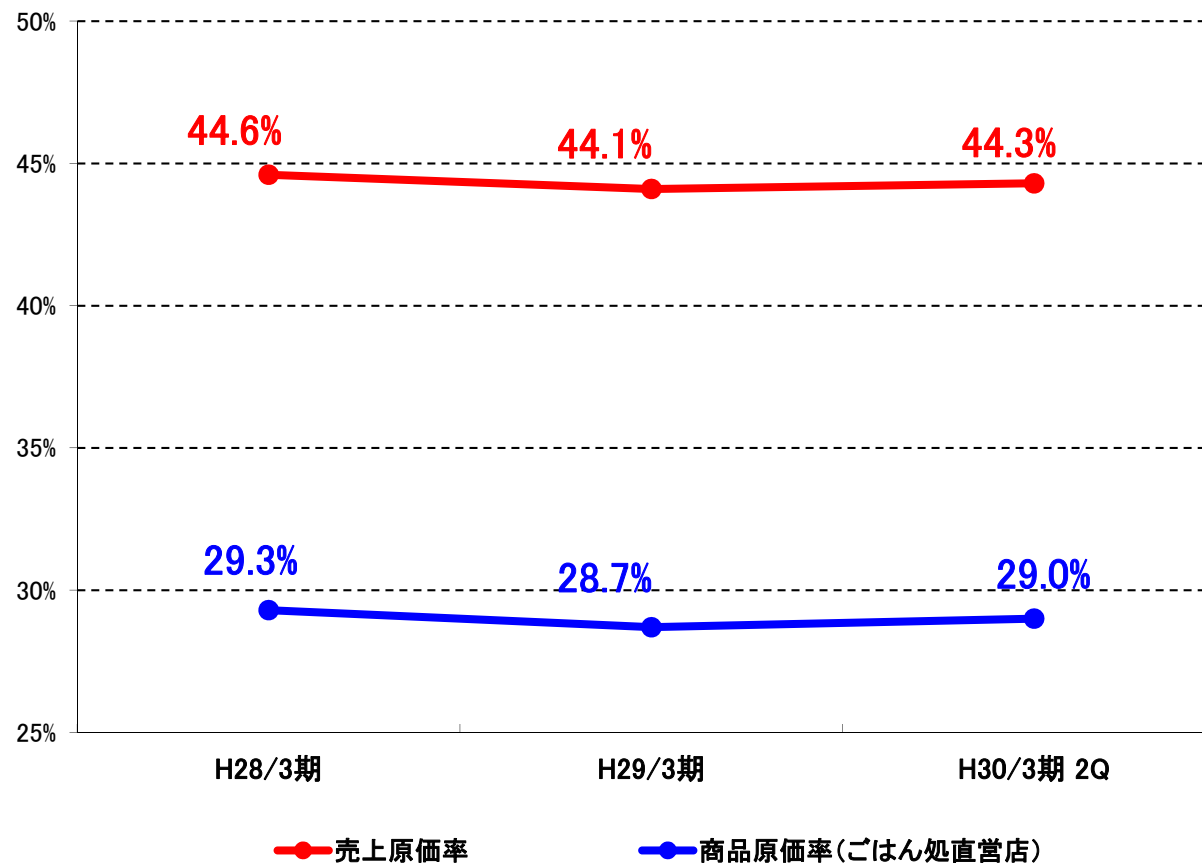


平成30年3月期 第2四半期 業績概況



8. 原価

＜売上原価率・商品原価率＞



■前期比差異要因

《売上原価率》

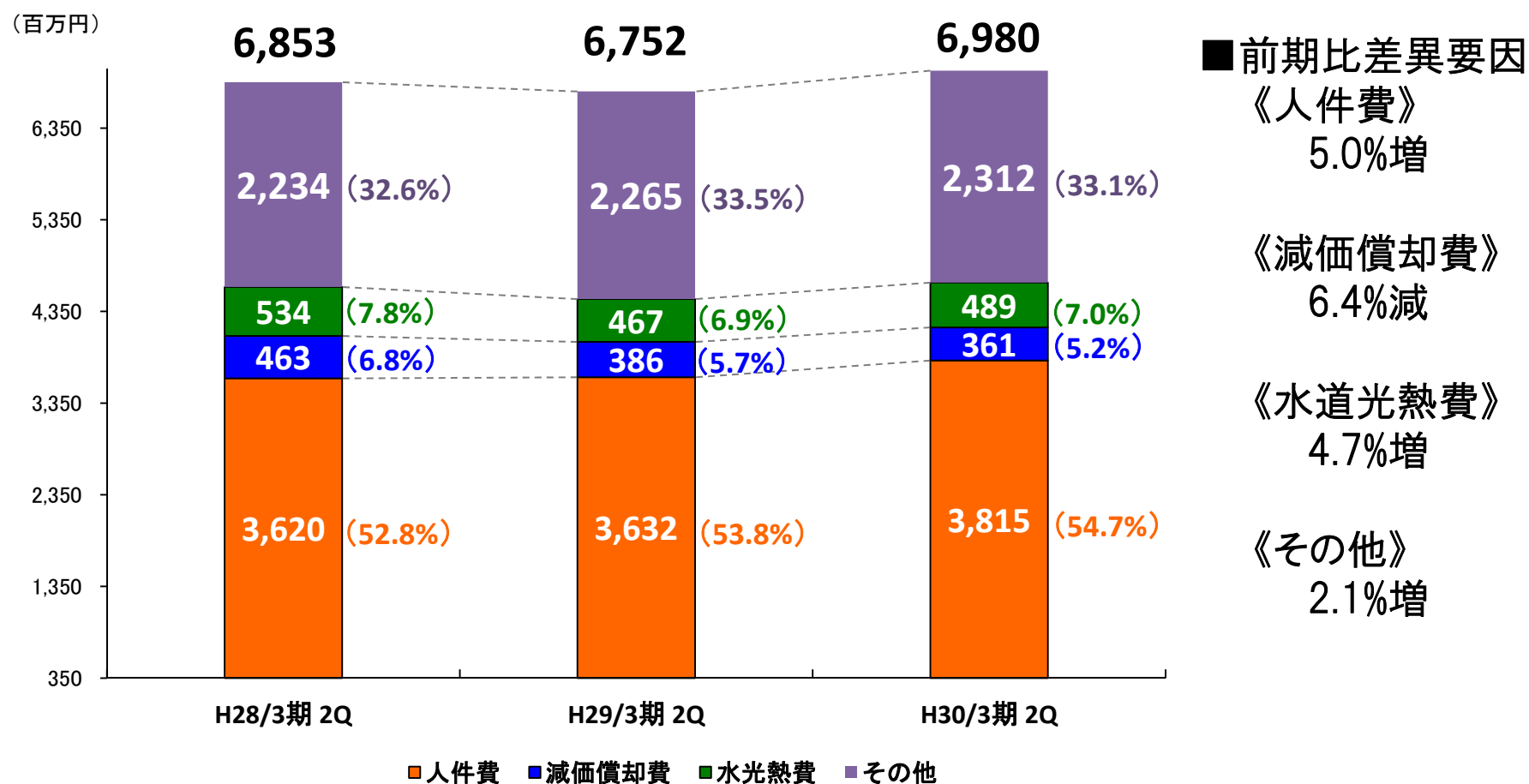
売上原価率0.2%上昇

《商品原価率》

商品原価率0.3%上昇

平成30年3月期 第2四半期 業績概況

9. 販管費



平成30年3月期 第2四半期 業績概況

10. セグメント情報

■30年3月期

(百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	国内直営事業	国内フランチャイズ事業	海外直営事業	海外フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,201	4,088	1,413	94	12,798	139	12,937
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	237	237
計	7,201	4,088	1,413	94	12,798	376	13,174
セグメント利益	30	520	▲69	38	519	20	540

■前期比

(百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	国内直営事業	国内フランチャイズ事業	海外直営事業	海外フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	185	46	49	8	289	2	291
計	185 (2.6%)	46 (1.2%)	49 (3.6%)	8 (9.3%)	289 (2.3%)	2 (1.6%)	291 (2.3%)
セグメント利益	▲84 (▲73.8%)	5 (1.0%)	▲23 (▲49.6%)	6 (18.9%)	▲96 (▲15.6%)	21	▲74 (▲12.2%)

平成30年3月期(第35期)下期 業績予想

平成30年3月期 下期 業績予想



1. 連結業績予想

(百万円)

	第2四半期 実績	通 期	利益率	前期比 (%)
売 上 高	12,937	27,000	—	5.4
営 業 利 益	225	860	3.2	21.2
経 常 利 益	237	900	3.3	26.5
親会社株主に 帰属する 当期(四半期)純利益	▲48	300	1.1	▲16.0

平成30年3月期 下期 業績予想

2. 出店計画

	H29年3月末 店 舗 数 (海外はH28年12月末)	H30年3月期 通期計画	
		新規出店数 (出店済)	期末店舗数 (見込)
国内直営[他業態含む]	146	3(2)	147
国内F C	202	15(3)	213
国内合計	348	18(5)	360
【子会社】香港	4	—	4
【子会社】シンガポール	3	—	3
【子会社】アメリカ[ニューヨーク]	5	—	5
【子会社】タイ	1	—	1
【F C】タイ	44	2(0)	44
【F C】台湾	27	6(2)	32
【F C】インドネシア	6	2(2)	11
【F C】中国[上海]	2	4(0)	5
【F C】ベトナム[ホーチミン]	1	0(0)	1
海外合計	93	14(4)	106
国内外合計	441	32(9)	466

平成30年3月期(第35期)下期 経営施策

1. 五穀ご飯配合の変更

◆人気の「もちもち五穀ご飯」を新配合に変更

◆雑穀量を20% ⇒ 45% へアップ

◆食物繊維↗ カロリー↘

◆五穀ご飯 1 杯で、レタス 1 個分の食物繊維



平成30年3月期 下期 経営施策

2. 季節メニュー

◆10月

「たっぷり野菜と
チキンの玉ねぎ定食」



「おいもづくしの
紫芋のパフェ」



◆12月

「酒粕鍋」



◆1月

「うな重」



「いちごのパフェ」



◆2月

「牛タンの味噌漬け重」
(復興支援メニュー)



「合鴨とセリの出汁鍋定食」
(復興支援メニュー)



平成30年3月期 下期 経営施策



3. 販促キャンペーン

◆2017年12月～2018年3月 Ponta会員来店促進キャンペーンの実施

『 手作り定食を食べて、ポイントGET♪ 大戸屋へ55(ゴーゴー)キャンペーン 』



特典①

大戸屋で食事後、はじめて
Pontaカードを提示した方全員で
＜50万Ponta＞ポイントを配分！

特典②

キャンペーン期間中、4回以上
大戸屋でお食事された方の中から
抽選で、最大3,000名に
＜500Ponta＞プレゼント！

平成30年3月期 下期 経営施策



4. 大戸屋福袋

◆2018年元旦～5日 全店にて販売



ラインナップ ①

3,000円（税込）

お食事券 3枚、物販商品

ラインナップ ②

5,000円（税込）

お食事券 5枚、物販商品



5. 大戸屋創業60周年施策

◆大戸屋食堂 創業（1958年1月）から60年にあたる 2018年1月から1年間、創業60周年として、販促施策を実施。

【主な施策】

- 1月8日を「定食の日」として、一般社団法人 日本記念日協会に登録。
- 「大戸屋公認！ 大戸屋につぽんの定食レシピ」（学研プラス）を出版。
- 60周年ロゴを作成し、2018年1月8日より、1年間展開。



ちゃんとごはん。



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載した予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料記載の予想数値等と異なる場合がありますので、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。